

平成27年度事業計画書

公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会は、平成24年4月より公益法人に移行後、平成27年度で4年目を迎える。

平成26年度は、10月に韓国仁川で開催されたアジアパラ競技大会に兵庫県選手が20名日本代表として出場、15名がメダルを獲得、11月に開催された第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」では、兵庫県選手団が50のメダルを獲得するなど兵庫県選手の大活躍がみられた。

平成26年6月に兵庫県では、東京オリンピック・パラリンピック事前合宿招致プロジェクトが発足、県及び複数の市町が招致に名乗りをあげている。さらに、2020年を挟んで、2016年リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック、2017年シニアを対象とした日本スポーツマスターズ兵庫県大会、2019年ラグビーワールドカップ（神戸が開催場所に決定）、2021年関西ワールドマスターズゲームズなどスポーツの国際大会が目白押しである。

当財団では、平成27年度から2020年東京パラリンピックに兵庫県からひとりでも多くの日本代表選手を輩出し、県民のパラリンピックへの理解促進を推進するプロジェクトを開始する。そのために平成28年度を初年度とする5か年中期プランの策定に着手、スポーツ専門家を2名常勤雇用し、アスリート支援、障害者スポーツのすそ野の拡大という両側面からのアプローチを推進する。

〔一般会計〕

1 普及啓発事業

(1) (新規) 障害者スポーツのすそ野の拡大を推進するための支援事業

障害者が楽しみながら、スポーツに参加するために、障害者団体、障害者施設、体育関係機関等が主催するスポーツ大会等を視察するとともに運営にかかる経費に対する助成を実施する。

- ・助成対象 2団体（各50千円上限）

(2) (拡充) スポーツクラブ21との連携

① スポーツクラブ21への障害者スポーツ指導員の派遣

地域におけるスポーツクラブ21の活動に参加する障害者を増やすために、障害者スポーツ指導員を派遣し、障害者スポーツの普及・啓発、指導にあたるなどの連携をはかる。

② スポーツクラブ21全県サミットへの障害者スポーツ団体の参加

スポーツクラブ21との連携をはかるため、スポーツクラブの代表者が集う全県サミットに平成26年度に引き続き参画し、障害者スポーツの体験企画を実施する。

(3) (新) 障害者フライングディスク競技近畿ブロック大会への支援

フライングディスクは、誰もが楽しめるスポーツであり、兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会で陸上に次ぐ参加者数を誇るフライングディスクは、兵庫県としても普及を推進する重要な競技であり、当該大会を支援する。

(4) (新) サウンドテーブルテニス公認審判員資格認定講習会への受講助成事業

視覚障害者のためのサウンドテーブルテニス公認審判員資格認定講習会にかかる受講費、旅費の助成を行う。

派遣場所：三重県 1泊2日

(5) 兵庫県障害者スポーツ功労賞・優秀選手賞の贈呈

障害者スポーツの振興に功労のあった者又は団体、その他広く障害者の模範となった者又は団体を表彰してその功績を顕彰する。

(6) 国際大会派遣選手への激励金贈呈

障害者スポーツの振興と県民に対する理解促進を図るため、国際大会に出場する選手に対し表敬訪問及び激励金の贈呈を実施する。

平成 27 年 7 月 25 日～8 月 2 日

2015 年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ロサンゼルス大会 2 名

(7) ホームページ上での情報提供

当協会の実施する事業に加え、県内各地の障害者スポーツ関連イベント等について広く情報を提供するため、県、兵庫県障害者スポーツネットひょうごのHPを活用して、協会ホームページを運用する。また、大会開催の有無、競技ルールの改正など協会フェイスブックの活用もはかる。

(8) スポーツ協会広報誌発行

当協会が実施する事業について広く情報提供を行い、県民の障害者スポーツへの関心を高めるために、当協会が実施する大会等の情報を中心に障害者スポーツ関連の話題を掲載した広報誌を発行し、各都道府県、県内各市町、関係団体、障害者スポーツ指導員等に配布する。平成 26 年度に引き続いて、兵庫県障害者スポーツ協会だよりを年 2 回の発行（9月号、3月号）とし、併せて、賛助会員を募集する。

2 調査研究事業

(1) (継続) 障害者スポーツ施設のあり方検討会議の開催

県内の障害者スポーツ推進拠点施設の現状と今後のあり方や施設整備について検討を行うため、体育施設関係者・障害者団体・競技団体等のメンバーで構成する「障害者スポーツ施設のあり方検討会議」を平成 26 年度に引き続き開催する。

(2) (新) 障害者スポーツ国際大会にかかる調査実施

表彰、激励金の支給対象となる障害者スポーツ国際大会の新たな選定も想定した調査を実施

(3) (拡充) 「障害者スポーツネットひょうご」との連携

県内の障害者スポーツ関係団体を構成員とするネットワーク組織である「障害者スポーツネットひょうご」に平成 26 年度に引き続き参画し、情報の共有、協働事業の展開等を図る。なお、障害者スポーツネットひょうごの機能が公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会に移転するため、これまで以上に緊密な関係構築が可能

<事業例> ・「ひょうごの障害者スポーツサイト」ホームページによる情報発信

・「人材バンク」の運営

・ユニバーサルスポーツイベントとの連携

3 障害者スポーツ大会開催費

(1) 障害者スポーツ大会の開催等

第9回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会を開催、スポーツ推進計画の目標指標でもある大会参加者の増加を目指す。また、今大会からフライングディスク競技においてアキュラシー、ディスタンスの両種目エントリーを可能とする。

開催期日	競技名	対象	開催場所
4月29日 (祝・水)	車いす使用者陸上 フライングディスク	車いす使用者	ユニバー記念競技場 (補助競技場)
5月15日 (金)	卓球	精神障害者	県立障害者スポーツ交流館
5月16日 (土)	卓球	身体・知的障害者	県立障害者スポーツ交流館
	フライングディスク	身体・知的・精神障害者	三木防災公園
5月17日 (日)	水泳	身体・知的障害者	三木山総合公園
5月23日 (土)	陸上競技	身体・知的障害者	三木防災公園
	ソフトボール	知的障害者	三木防災公園
	サッカー	知的障害者	三木防災公園
	フットベースボール	知的障害者	三木防災公園
5月24日 (日)	バスケットボール	知的障害者	県立障害者スポーツ交流館
	バレーボール	知的障害者	県立障害者スポーツ交流館
	ボウリング	知的障害者	神戸六甲ボウル
6月5日 (金)	サウンドテーブル テニス	視覚障害者	県立障害者スポーツ交流館
	バレーボール	精神障害者	グリーンアリーナ神戸

(2) 全国障害者スポーツ大会に向けた選手育成強化

全国障害者スポーツ大会の全競技種目について、派遣候補選手を中心とした練習会や、交流試合等の実施により、選手及びチームの技術力向上を図る。

4 全国障害者スポーツ大会選手派遣費

(1) 第15回全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会への選手派遣

第15回全国障害者スポーツ大会に派遣する近畿ブロック代表チーム（団体競技）を決定する下記の近畿地区予選会に兵庫県チームを派遣する。平成27年度は、全国大会主催県の和歌山県がリハーサル大会を兼ねて全ての競技の近畿大会を主催する。

競技種目	開催日	会場
車椅子バスケットボール（身体）	平成27年6月7日（日）	和歌山県
バスケットボール（知的男子・女子）	平成27年6月7日（日）	〃
バレーボール（聴覚男子・女子）	平成27年6月7日（日）	〃
バレーボール（知的男子・女子）	平成27年6月7日（日）	〃
バレーボール（精神）	平成27年6月7日（日）	〃
フットベースボール（知的）	平成27年6月7日（日）	〃
グランドソフトボール（視覚）	平成27年6月7日（日）	〃
ソフトボール（知的）	平成27年6月7日（日）	〃
サッカー（知的）	平成27年6月7日（日）	〃

(2) **第15回全国障害者スポーツ大会「2015 紀の国わかやま大会」への選手派遣**

和歌山県で開催される第15回全国障害者スポーツ大会「2015 紀の国わかやま大会」に兵庫県選手団を派遣する。

- ・大会期間 平成27年10月24日(土)～26日(月)
- ・派遣期間 平成27年10月23日(金)～27日(火)
- ・開催場所 紀三井寺公園陸上競技場(和歌山市)ほか
- ・派遣人数 個人競技64名、役員66名
団体競技(近畿地区予選会の結果による)

(3) **第15回全国障害者スポーツ大会派遣選手事前練習会の開催**

第15回全国障害者スポーツ大会派遣選手を対象に、競技力の向上を図るため、各競技に精通した指導者を招き技術指導を行う。

- ・内容 陸上・フライングディスク、水泳・卓球
- ・実施時期 平成27年9月5日(土)、6日(日)、10月18日(日)
- ・場所 県立明石公園陸上競技場、西宮市総合福祉センター

(4) (継続) **全国大会選手派遣に向けた事前調査の実施**

円滑な全国大会選手派遣を目的として、事務局職員を和歌山県に派遣し、競技会場・練習会場・宿泊施設・交通手段等について事前調査を実施する。

(5) **第27回全国車いす駅伝競走大会への選手派遣**

京都市で開催される第27回全国車いす駅伝競走大会に兵庫県選手団を派遣する。

- ・開催日 平成28年3月予定
- ・開催場所 西京極運動公園マラソンコース(京都市)

5 全国車いすマラソン大会開催費

全国から参加者を募集し、篠山城跡マラソンコース(日本陸連公認コース)を利用して車いすマラソン大会(フルマラソン及びハーフマラソン)を開催する。

- ・開催日 平成27年9月27日(日)
- ・開催場所 篠山城跡マラソンコース(篠山市)
- ・参加者 選手約150名、競技役員・ボランティア約1,000名

6 全国障害者スポーツ大会選手育成事業

全国障害者スポーツ大会の出場に向けて、各団体が実施する練習会、交流試合のかかる経費を助成し、選手の育成、強化をはかる。

7 (新) 障害者スポーツ推進プロジェクトの実施

2020年に開催される東京パラリンピックに向け、ひとりでも多くの日本代表選手を兵庫県から輩出することを目指すとともに、障害者スポーツの普及啓発、スポーツを通じた障害のある方の社会参加を促進

ア 2020パラリンピック推進事業

(7) **パラリンピックフェスティバルの開催**

パラリンピック種目の県民の理解を促進するため、競技体験会、アスリートによる講演会等を開催

(イ) **2020パラリンピック出場選手発掘事業**

中学生、高校生を中心に選手発掘のための記録会、スポーツ教室を開催

イ 地域における障害者スポーツ推進拠点等整備事業

(7) 体育館等バリアフリー化に要する増設等

特別支援学校等の施設（体育館等）を障害者スポーツ団体に開放する際に必要となる手すり・スロープ等を整備

(イ) 障害者スポーツ環境整備

障害者スポーツ道具の貸与、倉庫等の整備

予定拠点数 15 か所

(ウ) 障害者スポーツ推進拠点支援員の設置

競技指導・助言、利用にかかる各種手続き等

ウ 中期5か年計画（プラン）の策定

2020年東京パラリンピック、2021年兵庫県スポーツ推進計画の10か年プラン最終年度を見据えた協会の中期プランを体育施設関係者・障害者団体・競技団体等のメンバーで構成する「中期5か年計画（プラン）策定検討会議」を開催する。

7 事務局体制の強化

(1) 財政基盤強化のための取組

① 賛助会員の募集

関係団体、協賛実績のある法人、企業、社会奉仕団体等に年2回の機関誌発行の送付の際に広く加入を呼びかける。

② 協賛企業の開拓

兵庫県のじぎくスポーツ大会、全国車いすマラソン大会等の協賛企業の新規開拓を進めるとともに、大会プログラムへの広告掲載を積極的に行い、広告料収入の拡大を目指す。

③（拡充）障害者スポーツ支援自動販売機の設置

飲料販売企業の協力を得て、売上金の一部が当協会に寄附される障害者スポーツ支援自動販売機の設置台数の増加を推進するため、学校・企業等に対してスポーツ専門家が飲料販売企業と協力して販促活動を行う。

(3) 事務局体制の強化

引き続き3名体制とし、新規採用者は障害者スポーツ指導員（初級）の資格取得を奨励する（協会負担）。

〔基金会計〕

1 障害者等スポーツ種目普及事業〔スポーツ奨励事業〕

(1) (拡充) 障害者スポーツ普及・育成事業

サッカーのヴィッセル神戸やバレーボール実業団チームなどの県内プロスポーツや企業スポーツチーム、又、パラリンピック出場アスリート、一般競技団体指導者等の参画を得て、障害者スポーツの普及と選手育成を図るために実施する練習会、教室等に対し経費の一部を助成する。

- ・助成団体 4 団体 (H26 年度は 2 団体)
- ・助成額 定額補助 (上限 100 千円)、対象経費：会場使用料、派遣経費等

2 競技別県大会開催等支援事業〔競技種目別県大会等開催支援事業〕

団体が主催する競技大会及び練習会開催経費の一部を助成するとともに、大会情報発信の充実により競技人口の拡大や競技団体の競技力向上を図る。

- ・助成団体 最大 31 団体
- ・助成額 定額補助 (上限 80 千円)

3 兵庫県障害者スポーツ指導者養成講習会開催事業

障害者スポーツの振興に関わる指導者の養成を行い、地域に配置することで地域の障害者スポーツの振興を図る。

特に、障害者スポーツのすそ野拡大や競技力向上のための人材確保に向け、市町社会福祉協議会等の担当職員やスポーツ推進委員、SC21 関係者、一般競技団体のスポーツ指導者、特別支援学校教員、大学生等を対象に、受講促進を図る。

- ・研修期間 平成 28 年 1 月 (3 日間)
- ・研修場所 県立障害者スポーツ交流館ほか
- ・募集人数 50 名
- ・受講料 2,000 円

4 ボランティアの確保の拡大

県内の大学・短期大学・専門学校や企業等に、各種大会のスタッフとして活動する障害者スポーツボランティアとしての参加を積極的に呼びかけ、障害者理解の促進に取り組む。のじぎくスポーツ大会でボランティア参加実績のある大学、高校に加え、障害者スポーツ指導者養成認定校などにも参加を働きかける。

5 スポーツ奨励事業〔障害者スポーツ奨励事業〕

障害者スポーツの振興に有意義な研究会の開催や指導者・ボランティアの資質向上のための研修会、競技力向上のための審判講習会等の事業に対し、経費の一部を助成する。

- ・助成団体 全県レベルの障害者スポーツ振興を目的とする団体
- ・助成額 定額補助 (上限 30 千円)

6 障害者スポーツフェスティバル事業〔障害者スポーツフェスティバル開催支援事業〕

障害の有無や程度・種類に関係なく、誰もが楽しむことができる大会やイベント等の開催を支援することにより、障害者スポーツのすそ野を図る。

- ・支援対象 10 大会
- ・助成額 定額補助 (上限 30 千円)

※ 参加者に占める障害者の割合等助成要件を緩和

7 競技別全国大会派遣経費支援事業〔障害者スポーツ競技種目別全国大会等派遣支援事業〕
競技団体の競技力向上等を図るために、団体が派遣する全国大会の派遣費用の一部を助成する。

- ・助成団体 最大 31 団体
- ・助成額 定額補助（上限 60 千円）

8 競技団体設立支援事業〔障害者スポーツ競技別団体設立・育成支援事業〕
競技団体が無い競技スポーツについては、全県的な競技人口の拡大を図るため、競技団体設立に要する費用の一部を助成する。

- ・助成額 定額補助（上限 50 千円）